



2023年10月24日 第3451回例会 会場：川越プリンスホテル5階

会員数：99名 免除出席者：3名 正会員出席者：54名 出席者：57名 早退：0名 出席率：57.58%

プログラム

点鐘（12：30）／ロータリーソング（第4例会：手に手つないで・R-O-T-A-R-Y）／ビジター・お客様紹介／卓話講師紹介／会長の時間／幹事報告／委員長報告／ニコニコボックス／出席報告／卓話／点鐘（13：30）〈司会：小林SAA〉

《ビジター・お客様紹介》

杉本 榮次（すぎもと えいじ）様 秦野 RC

《卓話講師紹介》

大久保 忠夫（おおくぼ ただお）様
武州ガス(株)総務企画部長

会長の時間



2023-24年度 会長 坂口 孝

本日 10/24 はポリオデーでございます。ロータリーでは財団月間は11月です。ただ、ポリオデーは10月なのです。なぜポリオデーが10/24なのか？それはワクチンを開発したソーク博士の誕生日で、博士の誕生日を記念して10/24と位置付けました。シカゴロータリーのポリオデーでは皆様が赤いポンチョを着てやっています。1954年(69年前)にワクチンが出来て、元々小児麻痺財団が実施していたのですが、ロータリーが「ポリオに関連してやって行こう」と決めたのが1979年です。「フィリピンで600万人の子供たちに接種をしよう」と始めたのがキッカケです。ロータリーの3H運動というところで始まりまして、1980年ロータリーの75周年を記念して、ポリオ接種に携わる事になりました。1985年に「ポリオプラス」ができ「他の感染症にも携わって行こう」となりました。現在はレガシーを

引き継いでポリオプラスと言っています。今は世界で数名までポリオ発症者が減っています。では、ポリオ以外を見てみると、全世界で2億を超える栄養失調の子供達があります。ロータリーは今後「ポリオプラス」なのであれば、こういった人達へも手を差し伸べて頂きたいという思いです。

幹事報告



2023-24年度 幹事 栗原 雄一

・配布物

会報・卓話資料・プリンスホテルからのご案内

・10/22 東松山 RC60周年記念式典報告

委員長報告

・親睦委員会	10月のお祝い	五十嵐委員
会員誕生	会員配偶者誕生	結婚記念
阿部好弘	藤井潔・みどり	小谷野和博
川合善明	山崎共子・嘉正	福島一嘉
齊藤智	上原孝之・亮子	鈴木健二
吉澤徳安	久保田誠・陽子	坂口 孝
京野弘一	金剛清輝・裕美	池袋賢一
永島明		石川恭也
真鍋隆彦		高橋哲彦
		米原恭淳
		山本元隆
		福本匡志
		今泉嘉章



・次週卓話（柏倉会員より）

アスミックエース社長 映画業界の近況

・ニコニコボックス（ユニーク表彰）福岡委員
7/11例会 小林会員、8/29例会 水村会員
9/12例会 片山会員

ニコニコボックス(福岡委員)

●職業社会奉仕委員会山崎委員長、武州ガス(株)企画部長大久保忠夫様、本日の卓話宜しくお願ひ致します。<会長、幹事>

●秦野ロータリークラブ杉本榮次様、例会による。楽しんで下さい。<会長、幹事>

●川越ロータリークラブの皆様こんにちは！私は第2780地区秦野 RC に所属している杉本榮次と申します。齢を重ねるに従い、年月の過ぎるのが早く感じる今日この頃です。会社員として最後の単身赴任先となった福島県郡山市にて、2006年6月に郡山 RC に入会させて頂きました。翌年の2007年6月末に勤務先だった東北アンリツ(株)を定年退職し、自宅のある神奈川県秦野市に戻ると同時に秦野 RC に転籍させて頂きました。秦野 RC では、2007—08年度に会長を分担し、今年度は会員選考・職業分類委員会委員長を分担しています。本日は何卒よろしくお願ひ致します。<杉本(秦野 RC)>

●武州ガス大久保忠夫様、本日の卓話よろしくお願ひ申し上げます。<山崎>

●職業社会奉仕委員会山崎委員長、武州ガス(株)企画部長大久保忠夫様、本日の卓話よろしくお願ひ致します。<小橋、住谷、柏倉、鈴木(壮)、小杉、小城、相原、西川、石井、山田(哲)、神谷、野溝、丸山、菊池、堀尾、芳野、土屋、和田(尚)、齊藤(智)、久保田、馬場(常)、西澤、山田(和)>

●先週は、孫のおねだりで例会を休んで西武園遊園地に行つて来ました。私は昭和レトロな商店街を楽しみ、孫はゴジラのアトラクションが気に入った様です。<野溝>

●入会時に宣言致しました「東大野球部の後輩が六大学野球で勝利したら寄付」につき、秋のリーグ戦で法政大学に勝利いたしました。来春はたくさんできるように願っています。<土屋>

●今年も肋骨を折ってしまいました。11月9日の親睦ゴルフまでにくつつく様に、お酒の代わりに牛乳飲んでいきます。<小林>

●欠席させていただきます。<和田(喜)>

(敬称略) 合計37,000円

卓話(職業・社会奉仕委員会より)

○卓話講師：大久保 忠夫様
武州ガス(株) 総務企画部長

1926年10月29日設立。都市ガスと電力販売の事業を中心に手掛け、電力販売自由化により2万3,000件の電力販売。都市ガスのお客様は232,000件。10市7町に供給。創立のきっかけは埼玉県坂戸市の「常襲的な水害に苦しむ郷土を救いたい」という思いから設立。創業の理念は、創業者の一人「大川平三郎」は渋沢栄一の甥にあたり、経済道徳合一主義「世のため、人のため」の教えを受け継ぐ。また経営理念において「新たな時代におけるお客さまの期待に応えるため、常にお客さま志向に徹し、社業の発展に努めるとともにガス事業を核として豊かなうらおいのある都市生活づくりを提案し、地域社会の繁栄に貢献していく」と、創業理念を元に策定。社会貢献について、社会インフラ・脱炭素社会へ・地域社会の活性化・次世代の支援・文化、スポーツ活動の支援、の5つの視点から取り組んでいる。



- 1、社会インフラ：お客さまに安全・安心して都市ガスを供給。地震等の大規模災害に備え、災害訓練を定期的を実施。
- 2、脱炭素社会へ：37ヶ所、4MWの発電容量の太陽光発電施設を稼働。「ゼロカーボンシティ」の実現に向けて、川崎市・狭山市・ふじみ野市、鶴ヶ島市、東京ガス(株)ともに包括提携を締結。環境保全への取り組みとして「官民連携プロジェクト」を立ち上げ、実施(全国初)
- 3、地域社会の活性化：行政との協定を結び、経済産業省より地域経済を担う中核企業として「地域未来牽引企業」に選定される。コンサート・イベント等での募金、収益金の一部を毎年寄付。新規事業として、農業事業・うなぎの陸上養殖事業へ参入。
- 4、次世代の支援：コンテストの開催、子どもエコクラブ、出張授業、社会体験チャレンジ事業、を実施。
- 5、文化・スポーツ活動の支援：お客さまを無料招待し「日本フィルハーモニー」コンサートを開催。所沢シティマラソン・小江戸川越ハーフマラソンへの協賛。COEDO KAWAGOE F.Cとパートナー契約。